大阪鉄道専門学校 募集･教育方針

募集方針

アドミッション・ポリシー（求める人物像）

本学園の学園理念「世界観を持ち、おもいやりのある人財を育む」に基づく「教育目標」及び「到達目標」を理解し、それを達成するために学生生活を送ることを前提に、以下の入学生の受け入れ方針を定めます。

【求める学生像】
・鉄道を通じて、地域や社会に貢献したいという意欲のある人
・鉄道におけるお客様の安心・安全を支える仕事につきたい人

【本校入学前に身につけてほしい学力・能力】
・鉄道業界への興味
・入学後の学修を円滑に進めるための、国語や英語、地理歴史、数学等で学ぶ基礎的な知識
・挨拶などの基本的なコミュニケーション

教育方針

教育目標

グローバルな視点を持ち、職業現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人財を育成する。
・「ホスピタリティ(おもてなしや思いやり）」の心を育む。
・プロ意識を醸成。
・目指す職業の知識技能の習得。

「カリキュラムの体系化によるキャリア教育」
①生き生き働く職業人モデル（教員・先輩など）との接触機会を増やすことによる動機付け教育の実施。
②現場体験で経験機会を増やすことによる体感学習の実施.。
③社会に出て役立つ技能を身に付けるための実務学習と資格の取得。

到達目標

ホスピタリティ(おもてなしや思いやりの心)の概念と、職業現場におけるホスピタリティの重要性を理解し、観光業界で「おもてなしのプロフェッショナル」として、お客様に感動・笑顔・安心を提供できるビジネスマナーを身に付けた職業人財の育成を目標として掲げる。この目標を踏まえ、それぞれ以下に示す教育活動を展開する。

【鉄道科】
１.「協働性と対応力の向上」
様々なお客さまや環境の変化に柔軟に対応し、他者と連携を取りながら協働するための高いコミュニケーション能力を身に付ける。
２.「規則を遵守できる人財の育成」
鉄道業界における安全の意義を理解し、規則を確実に遵守できる強い責任感と使命感を身に付ける。
３.「幅広い知識と専門技能の習得」
鉄道業界において即戦力となる専門知識と技能を有し、安全輸送を通じて社会に貢献できる能力を身に付ける。

［取得目標資格］
鉄道科：サービス介助士、全国手話検定、普通救急救命講習

カリキュラムポリシー

国内外の観光ホスピタリティ業界で活躍できる職業人の育成と、専門的且つ実践的な知識・技能の修得、ホスピタリティマインドの醸成を目的として、下記の教育課程編成及び実施に関する方針に基づいてカリキュラムを編成する。

１.鉄道に関わる専門的な知識、教養、技能、マインドを段階的且つ体系的に幅広く修得することを目的として、専門科目を実施し、各業界で必要とされる実践的知識を身に付ける。
２.業界出身者よる実践教育や、業界との繋がりを活かした産(官)学連携教育を実施することにより、業界の持続的発展に寄与できる職業人の育成を目指す。
３.他を思いやるホスピタリティマインドを育み、多様な価値観を受容できる力を育成するホスピタリティ教育科目を実施する。
4. グローバル社会で必要とされる英語運用能力の基礎を身に付け、多文化理解を深めるため、外国語教養科目を実施する。
5. 卒業後のキャリア形成を目的とし、本校で培われた力を社会で発揮するための業界研究及び就職対策科目を実施する。キャリアビジョンの明確化、業界人事担当者や卒業生による講話、学内会社説明会を行い、業界・企業理解を深め、志望企業就職決定へ導く教育を実施する。
6. 他者と柔軟に協働し、自律的に観光に関する課題・問題を発見し、解決する思考力の醸成を目的として、プロジェクト学習科目を実施する。
7. 社会人として適切なビジネスマナーを身に付けるとともに、社会で求められる広範な知識と多角的に問題を解決する能力の基盤を育成するため、教養科目を実施する。
8. 多様化する観光業界の変化に適応し、持続的発展に貢献できる柔軟性、接遇応対能力を修得するため、コミュニケーション演習科目を実施する。

【鉄道科】
・鉄道事業における安全確保及び安定輸送を目的として、安全教育科目を通じ、規則を遵守する人財の育成を目指した教育を実施する。
・多様なお客さまのニーズや新事業等へ柔軟に対応できる人財を育成するため、鉄道実務科目、接客接遇科目、表現力教育、ICT(1人1台のデバイスを導入)を活用し、他者と協働・連携して進める鉄道関連の企画科目を実施する。

【授業形態・評価・教育方法】
１．課題解決能力、協働性の涵養を図り、主体的・対話的で深い学びの機会を充実させるため、ICTの活用及びアクティブラーニングを取り入れた教授法を積極的に導入する。
２.各科目の到達目標の達成に向けて、講義、実技演習、協働活動を組み合わせた授業を実施する。職業体験を通して社会性の育成を図るため、課外活動、企業実習を実施する。
３．授業シラバスで提示された到達目標に対する成果を公正に測るため、評価方法及び 評価基準を明確にし、知識・技能を評価する。

ディプロマ・ポリシー

本学園では、本学の定める修業年限以上在学し、専門科目、共通科目を所定の履修方法に従って総単位数の80%以上を習得し、下記の能力・資質を備えた者に対し卒業を認定。
①通常授業　②企業実習

①・②の総時間数の80％以上を受講した者に対し卒業を認定。

ホスピタリティマインド	相手の立場に立って考え行動する「ホスピタリティマインド」を持っている。
	「自己理解・他者理解」について、自らが気づきを得ることができる。
知識・理解	業界・企業の特色を理解することができる。
	専門業界に必要な知識及び能力を得ることができる。
	働く上での基本といえる、ビジネスマナーを身に付けている。
専門性・表現	専門知識に基づいた、クリエイティブな思考力を持っている。
	好奇心を持ち、自らの専門を探求することができる。
	自分の考えをしっかり相手に伝える表現力を持っている。
	視野を広げて、向上心を持ち続けることができる。